

令和6年 11月 27日

南箕輪村議会議長 様

提出者名 笹沼 美保

議員研修・議員視察結果報告書

研修名または視察テーマ	第19回長野県地方自治政策課題研修会
研修・視察実施場所	長野県庁（YouTubeライブ配信）
研修・視察の期間	令和6年 11月 12日
研修・視察の成果等	テーマ「地域の防災・減災力をどう底上げするか？～産官民の役割について考える～」 ・防災活動と減災活動は違うという話から始まり、目からウロコの講演であった。『自助・共助・公助』とよく言われるが、自助ができていなければ共助できるはずもない」と当たり前のことであっても、そこが意識できていないとの指摘があった。防災訓練といえば消火訓練や救助訓練・炊き出し訓練があるが、いずれも減災活動（災害が起きてからの対応活動）であり、防災活動（耐震補強・転倒防止・被災防止など）の向上は遅れているとのことであった。確かに、大規模災害が起こることを自分事として認識し、準備をしっかりとしている村民がどれだけいるだろうかと考えた時に、村行政としても村民に対する意識付けに重きを置くことは必要であろうと感じた。 ・「ハザードマップ配布は『広報活動』であり『啓発活動』ではない。自主防災組織や消防団の啓発活動による導きが必要。ハザードマップは見るものではなく、使うもの」との指摘は、これまでの防災意識を変えてくれるものとなった。

※研修・視察終了後、議長または委員長が定めた期日までに提出すること。